

令和5年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
実践報告

Keep the staff smiling

#しろくまの介護はみんなを救う！



社会福祉法人 白熊会
特別養護老人ホーム 白熊園



ノーリフティングケア導入前の白熊園



導入前の普段編



導入前の介助編



開設19年目にして・・・まだこんなケアをしているの？
職員は他の施設がどんなケアをしているのか知らず
これが当たり前前のケアだと思っていた！！

ノーリフティングケア導入に向けて



導入に向けまず考えたことは
ノーリフティングケアの伝達方法
トップダウン ボトムアップ
両方同時進行で実施する



・内部研修
・福祉用具

・外部研修
・IKRの設立
移乗困難レスキュー隊

過去の事例を
参考に！！

・ノーリフティングケア宣言
・腰痛アンケート実施



自作の
ポスター★



施設全体に周知&IKR設立

(移乗困難者レスキュー隊)

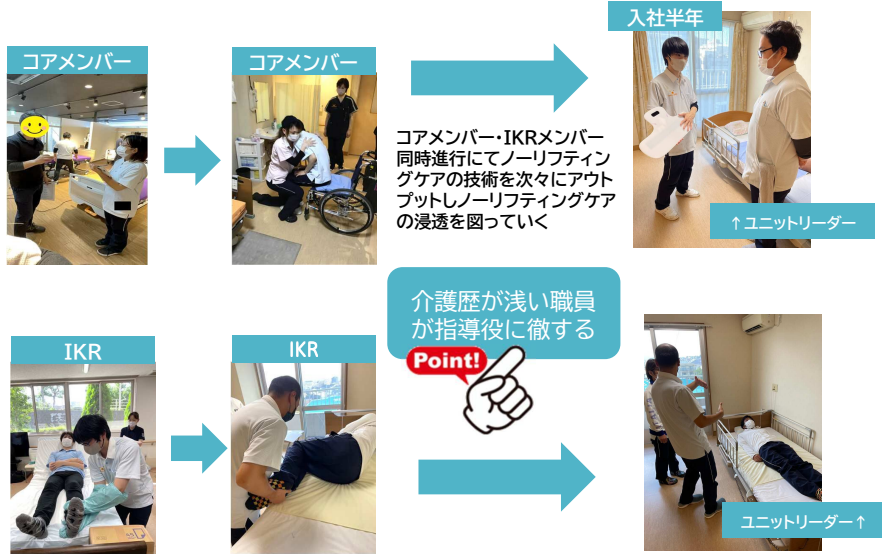
- ★インパクト大のポスターを作成
- ★2ユニットに1名IKRメンバーを選出
- ★メンバーの中には新卒者や経験2年目と介護歴が浅い方を中心に選定する。



エレベーターやユニット内、休憩室など
あらゆる箇所に掲示しました！！



遂に！IKR(移乗困難者レスキュー隊)始動



福祉用具の活用



福祉用具の活用、デモ機を積極的に導入

現状購入しているのは……



腰痛体操

腰痛体操の動画を作成し各部署のPCのデスクトップに貼り付けし各自時間を決め腰痛体操を実施する。



腰痛ヒヤリハット

環境ヒヤリハット集計表

腰痛を痛める、痛めた要因	件数
移乗介助中	8件
ゴミ捨て(リネン、段ボールを含む)	8件
入浴介助中の移乗時	7件
中腰姿勢が続いたとき	4件
ベッド上での移乗やオムツ交換・処置の際	4件
キッチンでの洗いの時	3件
急いでいる時・忙しい時	3件
掃除(道具や状況によるもの)	2件
移動介助の時(物的要因も含む)	2件
物の持ち上げ・持ち運びの際	2件
食事介助	2件
採血の際	1件
物の故障によるもの	1件
床からの抱え上げの介助	1件
立ち上がる動作	1件
生活椅子ごと入居者様を動かす際	1件
寝不足によるもの	1件
悪天候によるもの	1件
洗面所にて手を洗う時	1件
仕事が終わる前(疲労によるもの)	1件
階段を上る時	1件
合計	55件



部署	時間
ゆり・ひまわり	13:00
しょうぶ・あじさい	13:00
きく・かえで	13:00
さざんか・こすもす	13:00
シヨートステイ	13:00
看護・リハ	10:00
事務所	9:00
厨房	8:00 15:00

物品管理表

車椅子	点検チェック表
1	車椅子の座面が破損していないか
2	車椅子の背もたれが破損していないか
3	車椅子のタイヤが空気不足していないか
4	車椅子のブレーキが正常に動作しているか
5	車椅子の足踏が正常に動作しているか
6	車椅子の安全装置が正常に動作しているか
7	車椅子の座面が清潔で乾燥しているか
8	車椅子の背もたれが清潔で乾燥しているか
9	車椅子のタイヤが正常に動作しているか
10	車椅子のブレーキが正常に動作しているか
11	車椅子の足踏が正常に動作しているか
12	車椅子の安全装置が正常に動作しているか

福祉用具	点検チェック表
1	福祉用具の座面が破損していないか
2	福祉用具の背もたれが破損していないか
3	福祉用具のタイヤが空気不足していないか
4	福祉用具のブレーキが正常に動作しているか
5	福祉用具の足踏が正常に動作しているか
6	福祉用具の安全装置が正常に動作しているか
7	福祉用具の座面が清潔で乾燥しているか
8	福祉用具の背もたれが清潔で乾燥しているか
9	福祉用具のタイヤが正常に動作しているか
10	福祉用具のブレーキが正常に動作しているか
11	福祉用具の足踏が正常に動作しているか
12	福祉用具の安全装置が正常に動作しているか

3ヶ月に一度車椅子や福祉用具の点検を実施



各ユニットに設置する。

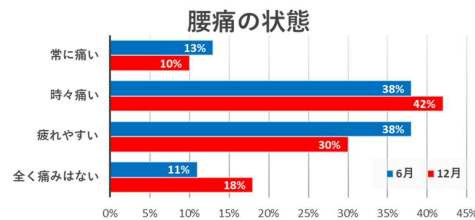
どこに何があるのか一目瞭然！！

改善点として「！」マークを追加し、職員からの不具合にすぐ対応！！

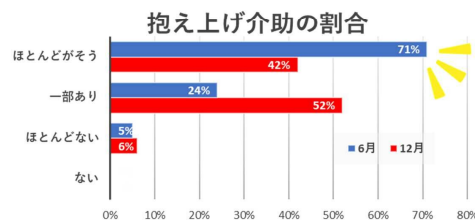
不具合があれば点検や調整を行う



腰痛アンケート結果



- ・気温が下がり腰痛が発症しやすい
- ・ぎっくり腰を発症した職員がいる
- ・腰痛体操で動かさなかった筋肉が動き始めて痛みを感じる
- ・体操の仕方が正しくできていない
- ・技術、知識不足



健康管理責任者が腰痛者に対し聞き取り



Point! 時々痛いの割合が5%増えているものの、「常に痛い」の割合が3%減っている。全体的な抱え上げが90%以上を占めているが、「ほとんどがそう」が71%から42%まで減少している。

結果・考察

- ①ノーリフティングケアに取り組んでみて良かったですか？
- ②ノーリフティングケアを続けていきたいですか？

介護職員36名にアンケート集計結果
83%の介護職員が取り組んで良かった
続けていきたい！！

今後の課題

- ・介護職員の腰痛者の増加について現場での実践経験や利用者様一人一人の介助方法などアセスメントが必要。
- ・実技研修のブラッシュアップが必要。
- ・福祉用具に関してはまだまだ数が足りないこととリフトのデモ導入など力を入れていく必要がある。
- ・ノーリフティングケアのマニュアルを作成し新人育成時活用していく。(オリエンテーション)

実技研修については介護職員に対し指導は実施できました。経験が浅い職員を研修に参加していただいたことでベテラン職員の意欲、向上心に繋がったのではないかと。腰痛アンケート結果の内容でトイレ介助、入浴介助時に抱え上げ介助をおこなっている為、介護者の腰痛の割合がほとんど変わらなかった。

まとめ



白熊会の理念・行動指針

- Hospitality** 利用者様だけではなく、仲間を大切にする
- Bold** 仲間を大事にするからこそ、自由活発な意見交換ができる
- Professional** 自由活発な意見交換ができるからこそ、プロの仕事ができる



- 3年目
・「抱え上げ介助がほとんど」の割合を0%にする。
- 2年目
・「抱え上げ介助がほとんど」の割合を42%⇒20%以下にする。
- 1年目
・ノーリフティングケアに向けた体制作り

Keep the staff smiling